

2023年春夏号

想 い



婦人公論連携企画 ●特別インタビュー

三遊亭小遊三さん
(落語家)

「三遊亭円楽さんを偲んで」

『笑点』での毒舌や「腹黒」キャラとは
うらはらに気遣いのある人でした

OMOI

お盆飾り特集

- お盆用品購入でプレゼント
(詳しくは17Pをご覧ください)
- 抽選で豪華賞品が当たるプレゼント
- 東三河地域のお店のご紹介(特典付)



昭和23年創業 お仏壇のたなか
(株)田中仏具店グループ

1世帯1冊のお届けになることをご了承ください

初盆を迎えるご家庭の方へ

故人様が初めて迎えるお盆なので特に丁寧にお祀りしてあげましょう。

※お初盆の準備品は宗派・菩提寺・地域によって異なりますのでご確認ください。

提灯注文の 確認事項

①家紋入り提灯を用意する場合は家紋を調べましょう。

(墓石の紋を確認してください。)

※張替希望の方は既存の火袋(家紋が書かれている部分)を持参してください。

②宗派を確認しましょう。(宗派によって提灯の有無があります。)

～曹洞宗・禅宗・臨済宗・浄土宗・日蓮宗・法華宗・真言宗用～

精霊棚の準備

提灯のお飾りと一緒に早めにお仕度されると良いでしょう。

※お寺様がお経をあげる為にご自宅にみえる際は**霊供膳**を準備します。

※お食事(精進料理)は8月13.14.15日のみで大丈夫です。

～初盆スケジュール～



家紋提灯…家紋が入っている提灯

我が家にいることを認識して
安心して過ごしていただくために飾ります。

※初盆でない方は8月13.14.15日の
3日間のみ提灯をお飾りします。

01

6月1日～

提灯注文(納品までに2週間)

※混み合う時期は1ヶ月かかることもあります。

02

7月中旬～

提灯飾り(通常のお盆より1ヶ月程早くから
準備しましょう)

03

8月1日

提灯灯り点燈(門灯同様夕方～就寝まで)

04

8月13日

迎え火(お墓→家)

05

8月15日

送り火(家→お墓)

06

8月24日(月おくれ地藏盆)

お地藏様が先達となり新仏様を極楽浄土の世界に
連れて帰られます。初盆の方はこの日迄に提灯を
収納しましょう。(防虫香を1つ入れましょう)

～ご寺院様・宮司様をお迎えする際のおもてなし品～

①おしぼり お干菓子を召し上がっていただく前にお使いになります。

②穴あき茶托 一般的な茶托より少し高さがあることが特徴です。こちらはご寺院様・宮司様など功德を積まれた方へ対しての敬意を示した茶托です。

③お茶 お勤めの前に喉を潤していただけます。蓋付湯呑がお薦めです。

(夏は汚れが入らない様に・冬はお茶が冷めない様に心遣いが表される湯呑です。)

④お茶菓子 個包装されたものがお薦めです。
(お干菓子) その場で召し上がられなくてもお持ち帰りすることができます。

⑤お懐紙 お干菓子の下に敷きます。
慶事と弔事で折り方が異なりますがお盆は弔事(左上)になります。



蓋付き湯呑



お懐紙



↑ 慶事の際

↑ 弔事の際

初盆小物のご案内

～曹洞宗・禅宗・臨済宗・浄土宗・日蓮宗・法華宗・真言宗用～

～枕米セット～

01

米袋に戒名・施主名を記入します。
どなたのお供え物か把握できるように記入します。

02

お米1升をさらしの袋に詰めます。
一生食べ物に困ることのないように一升(1.5kg)詰めます。

03

米袋の入口を縫い、さらに米袋の頂点に5円玉を縫い付けます。
5円玉は三途の川の運賃(六文銭)、お金に苦労しない様に御縁があつてまた帰れるように、と気持ちを込めて5円を縫い付けます。

04

扇子を添えます。
道中、暑さをしのげるように持たせてあげます。

05

わらじを添えます。
裸足では足が傷付くのでわらじで保護してあげます。

06

麻ヒモで結びます。
わらじの鼻緒が千切れた時に繋げるために麻ヒモが必要です。



↑米袋三角

枕米セットを準備される方へ



弊社オリジナル 献米セット

ご紹介します。

新潟産地
100%魚沼産
コシヒカリ米
1.5kg(一升)

- ★戒名・施主名弊社にて記入
- ★5円玉弊社にて縫い付け致します
- ★お引渡し7月10日以降

美味しいお米を食べていただきたいと毎年多くの初盆を迎えるお客様からご用命いただいています。お申込の際は“**戒名**”をわかるようにしてご来店下さい。

～お供え物～

乾麺・線香・籠盛など(枕米セットと一緒に故人様へお供えします。)

お盆期間中お供えしますので日持ちするものがお薦めです。

※のし(短冊)には戒名・施主名を記入します。

菩提寺の施餓鬼棚へお供えする迄は、ご自宅の精霊棚に飾ります。



初盆の時の
お供え見本→

～松明(たいまつ)～

※菩提寺によっては数が異り、松明以外で対応する場合もあります。

初盆の方のみ108束追加します。(百八の煩惱を焼き払い清浄の心で新仏様をお迎えします)

お墓から我が家までの道のりを迷うことないように道しるべとします。

(現在は交通事情もあり、お墓でまとめて焚き上げます。)

迎え火の
順序

- ①墓前にて一束、松明を焚きます。
- ②玄関先で一束、松明を焚きます。
- ③その火を仏壇のろうそくに灯します。

送り火の
順序

- ①玄関先で一束、松明を焚きます。
- ②墓前で一束、松明を焚きます。



ほうろく皿→

～お初盆の返礼品～

お初盆のお供え物を戴いた場合は、その場で感謝の気持ち(燈籠下り)を渡します。

素麺・洗剤・タオル等、日持ちしてなおかつ残っても利用出来るものを選びましょう。

※事前に準備する為、数がつかめません。7月中旬には揃えておきましょう。

半返し感覚なので1,000円～1,500円が選ばれます。(過分に戴いた場合は別途用意しましょう)

熨斗の
書き方→

燈籠下り
〇〇家

東三河エリアの盆飾り

～曹洞宗・禅宗・臨済宗・浄土宗・日蓮宗・法華宗・真言宗用～

～精霊棚の飾り方～

毎年お飾りします。

01

白布をかける。

02

"まこも"を敷きます。

ご先祖様をお迎えする為の新置なので毎年新調します。

03

五如来旗を吊るします。(施餓鬼会の後、お寺様から配布されます)

お盆期間中のご本尊様になります。

精霊棚の高い位置に吊るしましょう。

04

位牌を仏壇から出して棚に移動します。

向かって右が位が高い為、右側から初代様を並べます。

05

花立て・火立・香炉も同様に移動させます。

大きな花瓶でお花をたくさん飾ってあげても喜ばれます。

06

供物をお供えします。(夏野菜・果物等お供えしましょう)

15日はお団子をお供えします。

お団子は帰られる際のお弁当になります。

07

牛馬を並べます。

馬は仏様を乗せて、牛は荷物持ちをしてください。13日(戻って来られる時)は内側に、帰られる時は外側にむけて飾ります。

08

水の子(餓鬼飯)をお供え。

蓮の葉の上に精米とナス(さいの目)・キュウリ(さいの目)を混ぜた物)

餓鬼は喉が細いので細かいさいの目にして用意します。

09

お膳に湯呑・皿をのせて精進料理をお供えします。

※お皿の枚数は決まっています。

(お食事は13日・14日・15日のみ差し上げます)

10

はし木を切って箸を用意します。



↑ まこも



↑ 牛馬



↑ お膳白皿セット



↑ はし木



↑ 片口

※お寺様が施餓鬼経をあげに見える時に追加される小物

① 霊供膳(お盆用お膳・白皿・はし木は使いません)精進料理をお供えします。

② 片口 水を入れ、ミソハギの葉を浮かべておきます。お清めに使用します。

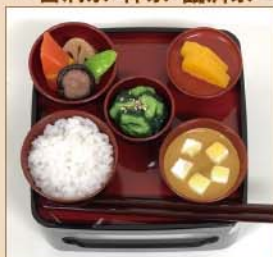
～お霊供膳の並べ方～

※お箸(手前)は仏様に向けます。

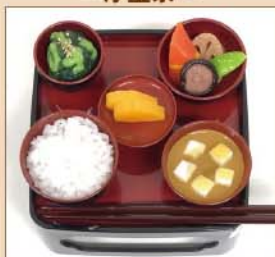
～曹洞宗・禅宗・臨済宗～

～浄土宗～

～日蓮宗～



仏様側



仏様側



仏様側

飯 椀 メシワン

白米を盛ります。

汁 椀 シルワン

ネギ(香りの強い食材)は抜きます。

平 椀 ヒラワン

煮物3・5・7種にします。

坪 椀 ツボワン

胡麻和え・豆(魔を滅する)等

高 皿 タカザラ

漬物ふた切れ盛ります。

お盆飾り参考例

お盆飾りは宗派・菩提寺・地域によって異なります。当店のお飾りはあくまで参考です。

～曹洞宗・禅宗・臨済宗・浄土宗・日蓮宗・法華宗・真言宗用～



お寺様からお経をいただく時のお盆飾り例

お作法の詳細はご寺院様へご確認ください。



～切子提灯～

切子提灯は故人の寢床として、**お初盆の時だけ**用意させていただく、特別なお提灯です。

長い旅路お疲れ様でした。ゆっくり休んでください。
と思いを込めて準備します。

切子提灯の極楽鳥は金襴の中でお休みになっている
お精霊様を見守るために下向きに飾ります。

一度だけで納めてしまいますが、
金襴の生地は残して念珠袋等、
お年忌の返礼品として使われます。



～神道の方へ～

お作法の詳細は宮司様へご確認ください。

※お提灯は白色系が一般的です。



お作法

- ①お盆は祖霊とその子孫である家族が家に集まる時です。
- ②季節の物などお供えて祖霊をもてなし、近況などを奉告します。
- ③お供え物は水・米・酒・塩・餅・魚・野菜・果物などの生饌。
- ④故人が生前好んで食されていた調理された食材、常饌をお供えてください。

～門徒の方へ～

お作法の詳細はご院主様へご確認ください。



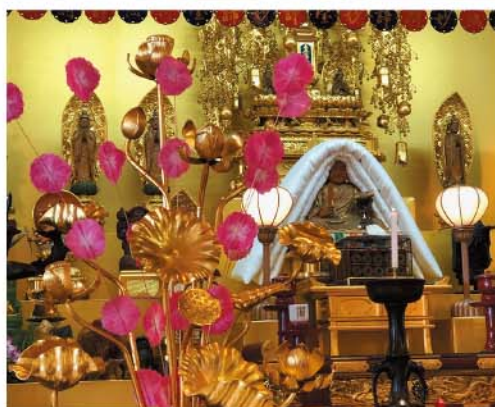
切子灯籠…門徒さんは切子灯籠を毎年飾ります。

目蓮尊者様のお母様が逆さ吊になっている姿を切子灯籠で表しています。

ご先祖様があって、今の自分が存在していることへの感謝の想い。いろんな方へのお慈悲の気持ちを忘れない為に飾ります。

お作法

- ①お盆前日までにお仏壇の掃除・仏具のお磨きをします。
- ②お提灯・打敷を掛けます。
- ③供花に御餅(またはらくがん)をお供えます。※御餅は最高のご馳走になります。
- ④朱ろうそくを用意します。
- ⑤14.15日の両日は朝・夕にろうそくを点けてお焼香をしてお勤めします。



← ↑日蓮聖人様の額に付けられた刀キズ。
血止めにあてられた綿入りの着物が綿帽子の由来です。本堂中央に祀られた日蓮聖人様は大きな綿帽子を被られています。本堂からお位牌様を下す際、火打石を打ってから移動されるお上人様のお姿に先代様を大切に想う心を感じました。

御寺院紹介

本有山 妙躰寺



第三世住職 つじもと さんき
辻 本 三 軌



↑円窓に切り抜かれた中央に日蓮聖人様
両サイドはハスの常花、天井は日本画家の先生に手掛けられた格天井☆なんとも美しい癒し空間の客殿です。



↑命を授かる可能性は25%
子供を授かる事は本当に奇跡なのです。熱く伝えて下さるお上人様。境内に祀られる福德地蔵大菩薩様には多くの方が参拝され、うれしい報告を告げに来て下さることが何よりも嬉しいと語られていました。

本有山 妙躰寺

住 〒441-1361 新城市平井字地官15-2

☎ 0536-23-6026

宗 法華宗

弊社のInstagramから辻本三軌住職様「日蓮聖人様の額に付けられた刀キズ」のお話を拝聴することができます。

[tanaka_butugu](https://www.instagram.com/tanaka_butugu)

新城の町中を一步中に入ってみるとそこには非日常的な風景と荘厳な空気に包まれたお寺があります。妙躰寺様の境内に据えられた沢山のハス鉢からは檀家様、地域の皆様に愛されている様子がしつかりと感じられます。ハス寺と呼ばれる妙躰寺様より伝えていただけるような蓮華の五徳を紹介させていただきます。

蓮華の五徳

① 汚泥不染の徳（おでいふぜんのとく）

泥の中で育つても、泥に染まることなく綺麗な花を咲かせることから、どんなに厳しい環境であろうとも、綺麗な心で生きることが大切だと伝えていきます。

② 一茎一花の徳（いっけいっかのとく）

蓮の花は一つの茎に一つの花を咲かせます。

あなたは唯一無二の存在なのです。誰かの代わりでもありません。

自分自身しっかり強い意志を持ち人生を謳歌して下さい。

③ 花果同時の徳（かかどうじのとく）

蓮の花は花が咲くと同時に種ができると考えられています。

生まれた時から、すでに誰にでも仏の心が備わっており、

その心をしっかり磨き育てて幸せに生きて下さい。

④ 一花多果の徳（いっかたかのとく）

一つの花には沢山の種ができます。

自分の悟り（開花）が多くの人々を幸せに出来るとされます。

お釈迦様もご自身が悟りを開かれた後、生涯その悟りを人々に伝え歩いたと言われているとされています。

⑤ 中虚外直の徳（ちゅうこげちよくのとく）

蓮の茎は外は硬く、中は空洞になります。その茎が太陽に向かって一直線に伸びていきます。

“自分！、自分！”という我を空にしてしっかりと悟り（太陽）に向かう努力をして行きましょう。



←ハス寺にふさわしい蓮のランタンは檀家様からの贈り物です。

春先には可愛い梅の花も見ることが出来ます。→



↑玄関先にはハスの香炉。お客様がみえる数分前にお香を聞かせるお心遣いに感動致しました。



↑毎年6月下旬～7月中旬にかけて約70種のハスの開花を見ることが出来ます。“お釈迦様へ1本でも多くの蓮の花をあげたい”と想う気持ちから鉢が増え今ではハス寺としても有名になりました。

田中仏具店グループに届けられた 会員様の声



S様 新城市【本店】

念珠の持ち方でも宗派によっていろいろな作法があるんですね。
渡辺信行様の“根を養えば樹は自ずから育つ”・“笑う門には福来る”病気の私には勇気をもらいました。

Y様 豊川市【本店】

昨年、母が亡くなり、初めて仏壇準備から初盆の飾り方に至るまで何ひとつわからない私共に
大変親身になってご対応頂き感謝しております。
今後、頼りになる所が出来、安心感で一杯です。前号からの会報誌も知りたい事が記載されていて、
バイブル的存在となっています。これからも末長くよろしくお願いします。

O様 豊川市【本店】

8年前に仏壇を購入してからたまに小さな物を買に行きますが、どんな時も親切に対応してくださり、
外まで見送ってくださるのには感激しています。これからもずっとお世話になりたい会社です。

N様 豊川市【本店】

今回お仏壇を本店で購入させて頂きました。
予算的な事もあり、4店舗見に行ったのですが最後に入った田中仏具店さんの社長さんをはじめ
従業員（主任さん）の接客に大変感動し、決めさせて頂きました。
私達夫婦お互いの気持ちを組み取りお話される姿に本当に感謝します。
ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

K様 蒲郡市【蒲郡店】

蒲郡の田中仏具様の店長様に法要の事で悩みがありご相談いたしましたら、
心良くお話を聞いていただきとても安心いたしました。お世話になりありがとうございました。
P9に正光寺様の記事があり、私が父のために選んで決めたお寺様で父のお墓もありますし
嬉しく拝読いたしました。念珠の記事も読みとても参考になりました。
房の色の白は葬儀用に紫は法事の時にと聞きましたがどうなのでしょう？

K様 蒲郡市【蒲郡店】

20年程前に父が亡くなり仏壇を購入したのがきっかけで利用させて頂いています。
その時、担当の山本さんが今は蒲郡店の店長となり今年は初盆という事で
仏具のそうじ等を教えて頂き、その親切さに改めて感謝感激しました。
会報誌については今回お念珠特集とてもよかったです。知らない事が多いのでとても参考になります。

M様 豊橋市【すずや店】

H3.11月にすずやの店長福井さんとお付き合いが始まりました。
店員さんも含め分からない事への質問に対して親切で丁寧に
説明してくれる体制には、とても感謝しています。今後とも宜しくお願いします。

T様 豊橋市【岩田会員】

葬儀、仏壇購入には大変お世話になりました。感謝しています。毎日満足したお参りが出来ています。
岩田エコー会館(川合様)、すずや仏具店、豊川本店奥様方々の丁寧な受け答えに
又、相談に乗って頂き感謝しています。知人・友人にもこの話をしています。

A様 豊橋市【岩田会員】

念珠の持ち方をいままでは知らずに適当に扱っていましたが、今回の会報誌により勉強になりました。
それぞれに深い心が(思い)感じられ、想いを大切にしていこうと思いました。

T様 豊橋市【岩田会員】

父の葬儀でお世話になりました。何から何まで教えていただき、思いのこすことなく送れました。

S様 豊橋市【本店】

訪問時はあたたかく向かって頂き、質問には丁寧に答えて頂けるので嬉しいです。
ありがとうございます。2人の両親も亡くなり、宗派や作法も詳しくなく、
今回、念珠の持ち方など書いてありましたので助かりました。



お客様へ

前号・秋冬号に掲載させていただきました念珠特集では沢山の激励のお言葉をいただき本当にありがとうございました。念珠の持ち方等、宗派によって異なると同様、菩提寺により作法も異なる場合がありますのでご了承ください。女性用念珠の房色に関して色目を気にされる方が多いですが、こちらは地域によって様々です。豊川・豊橋・蒲郡の地域では葬儀は白色、法要は紫色と言われますが、念珠を2本(白・紫)持たれる方は少ないので大半の方が無難な白色を選ばれます。しかし最近では念珠の玉に合わせて房色がコーディネートされていますのでカラフルな房色を求められる方もみえます。

会報誌を通じて皆様の気持ちに寄り添いたいと思う意識が高まっているスタッフ一同です。お客様とスタッフとの
気持ちの距離が近いほどにより良い接客・施行が出来るものです!2023春夏号も
みなさまのご意見・ご応募お待ちしております。気軽に投函してくださいね♪




tanaka_butugu
Instagramでの
当選者発表の様子



↑ 当社に届けられた会員様の声

～お盆供養のおはなし～

お盆は、先祖のあの世での冥福を祈り、私たちが今生きていることへの感謝の心を持つときです。

〴〵お盆〴〵は正式には〴〵盂蘭盆会〴〵と言います。

インドの古語のUllambanaがなまって、漢字に音写した〴〵盂蘭盆〴〵を略して〴〵お盆〴〵になったと言われます。

お盆の行事は、目連尊者様の故事に由来します。

目連という方は仏陀の10人弟子の中で最も神通力の強い力を持つ方でした。

目連は神通力を使って母親の死後の世界を見ました。

母親は生前の罪業がたたって、餓鬼道に堕ち、飢えと渇きに苦しんでいました。

そんな母親を救おうと、その方法を仏陀にたずねたところ

〴〵生前物惜しみをして、他人に施しをしなかった母親に代わって、大布施行を下さい〴〵と言われました。

目連は師のことに従い僧侶の雨安居とよぶ3ヶ月の修行期間が終る7月15日多くの僧侶や、

貧困に苦しむ人々に、お金や食べ物、衣類を施しました。

この結果、母親は餓鬼道の苦しみからのがれることができたそうです。

この故事によって、日本の社会でも、自分たちの先祖が、

死後の悪い世界に堕ちない様にとお盆の行儀が行われてきたと言われます。

お盆のお供え物は、その起源が餓鬼道より帰った仏様を祀る行事だった関係から、
お彼岸よりもお供え物を多くする習慣が残されているようです。

～お彼岸供養のおはなし～

お彼岸には自分を反省し、先祖に感謝すると共に、家族そろってお墓参りをしましょう。

彼岸は春と秋に行います。

春の彼岸は3月20日頃(春分の日)・秋は9月23日頃(秋分の日)を中心にそれぞれ前後3日間行われます。

〴〵中日〴〵は迷いと悟りの接する日です。

“春分の日”と“秋分の日”には、太陽は真東から出て真西に沈みます。

そして昼と夜の長さが同じになります。

迷いと悟り、この世とあの世、現実の世界と理想の世界の接する日でもあります。

そこでこの中日には浄土に生まれた先祖をしのび、今日ある自分を育ててくれた先祖に感謝し、

自らも彼岸に到達できるように精進することがすすめられている日です。

お墓参りはお中日に限らず、お彼岸中ならいつでも良いのです。

できるだけ家族そろって、墓石を洗い、お花やお線香をお供えしてください。

お水は故人様と縁の深い順に、満遍なく濡れるように掛けてあげてください。

そして墓所に六地藏様がいらっしゃるようでしたら少量のお線香・お花のお供えができるとお地藏様もきっと嬉しいですね。

株式会社 田中仏具店
代表取締役社長 田中己喜

